

## 事業概要シート

施策	0501	健康づくりの推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	带状疱疹ワクチン予防接種費用助成事業	現状維持	予算額 39,966 千円 << 41,561 >>千円
事業期間	令和6年度 ~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 39,966 千円 一般財源 千円
根拠法令要綱等	予防接種法、大村市予防接種事故災害補償規則、大村市予防接種費の償還払に関する要綱、大村市带状疱疹に係る任意接種費の償還払に関する要綱		

**【事業の目的・概要・対象】**

**【目的】**

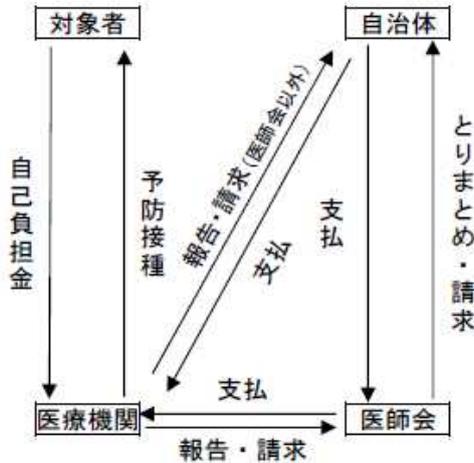
発症すると重症化し、重い後遺症を引き起こす可能性のある带状疱疹の発生と医療費を抑制するため、発症リスクが高い50代以上の不活化ワクチン接種に係る費用の助成を行う。

**【概要】**

- (1) ワクチンの接種効果や目的、健康被害救済制度の周知
- (2) ワクチン接種費用の助成
  - ・不活化ワクチン
    - (定期・任意接種) 一般：接種費用の6割、上限12,000円/1回
    - (定期接種) 生保：無料
    - (任意接種) 生保：接種費用の10割、上限20,000円/1回
  - ・生ワクチン
    - (定期接種) 一般：助成なし 生保：無料
    - (任意接種) 一般・生保：助成なし

**【対象】**

- (定期接種) ①年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の人（5年間経過措置）、101歳以上の人（R7のみ）
- ②接種日時点60歳以上65歳未満でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な人
- (任意接種) 上記の定期接種の対象者を除く接種日時点で大村市に住民登録がある50歳以上の方



**【背景】**

子どもの頃に水痘瘡に罹患した際に体内に残っている「水痘带状疱疹ウイルス」が、加齢やストレスなどで免疫力が低下することにより再び発症し、特に50歳以上の発症率が高くなる。80歳までに約3人に1人が発症すると言われ、高齢者では重症化するリスクが高くなり、発症した人の約2割が3か月以上の痛みが続く带状疱疹後神経痛になると言われている。接種費用の助成を行うことで自己負担額を軽減し、带状疱疹の発生及び医療費の抑制を図る。国が带状疱疹ワクチン接種を令和7年4月から定期接種化したことに伴い、定期接種を開始し接種費用の助成を行っている。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	三谷 浩
担当者	渡邊 音々	問合せ先	0957-53-4111（内線629）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名			単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	带状疱疹ワクチン接種予定回数	計画値	回	1,357	1,200	1,716	-	-
②		計画値						

### 【成果指標】

指標名			単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	带状疱疹ワクチン接種率	計画値	%	3.0	2.6	3.8	-	-
②		計画値						

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	0	30,429	41,561	39,966	-	-	111,956
国庫支出金					-	-	0
県支出金					-	-	0
地方債					-	-	0
その他			20,000	39,966	-	-	59,966
一般財源		30,429	21,561		-	-	51,990
人件費	0	4,616	727	727	-	-	6,070
職員(人)		0.61人	0.10人	0.10人	-	-	0.81人
時間外勤務(h)					-	-	0h
会計年度任用職員(人)		0.00人	0.00人	0.00人	-	-	0.00人
フルコスト	0	35,045	42,288	40,693	-	-	118,026

妥当性 (市の関与)	市民の健康維持、重症化予防、医療費抑制の観点から带状疱疹の発症予防に有効とされるワクチンの任意予防接種にかかる経済的負担の軽減のために市が取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	発症及び後遺症により、仕事や日常生活に支障をきたすような痛みなどが生じることもある。ワクチン接種によって市民の健康維持及び重症化予防を図ることで、市民の生活の質(QOL)の低下や医療費の抑制にもつながり、市民の健康寿命の延伸に寄与する。
効率性 (コスト)	带状疱疹ワクチン接種を行うことで、80歳までに約3人に1人が発症するというリスクを減らすとともに、発症及び後遺症の治療にかかる医療費の抑制につながる。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり